

リサイクルポリアミド樹脂材を活用した耐熱用プロテクタ部品の開発

開発中
2030年搭載予定

エアバッグ製造工程で発生する基布端材を利用した「リサイクルポリアミド66樹脂」を採用し、部品を開発

背景・課題

- ・ カーボンニュートラルに貢献するためにリサイクル材を活用した部品の開発に取り組んでいる
- ・ プロテクタ(車両搭載時に車の振動による摩擦でワイヤーハーネスが剥がれることを防ぐもの)の材料として活用

課題への解決・特徴

- 1 エアバッグ製造工程で発生する基布端材を再資源化したものであり、従来のポリアミド66と比較し、CO₂を約70%削減
- 2 材料メーカーで素原材料の受入検査を実施し、材料特性、環境負荷物質の有無を確認
- 3 素原材料について管理番号を付与しており、トレーサビリティが容易

主要性能, 仕様・構造

